

校 報

ましみず

12月号

掛合小学校
平成21年12月発行

二学期を振り返って

いつもの年より夏休みを四日少なくして、暑さの残る八月二十七日に、第二学期の始業式を行ったのがついこの間のように感じられます。

残暑の中での校内相撲大会、練習・準備から本番まで天候にも恵まれて大成功だった運動会、四年生のリードで行った素晴らしい壮行式で激励された選手が頑張ったミニバスケットボール大会、目的を掛合町内の各地区として学年ごとに定めた遠足、とここまでは学校行事も順調に実施できました。ただ、十月下旬から十一月中旬の間には、前号でお伝えしましたようにこれまで経験したことのない出来事もありました。

また、この二学期は子どもたちの健康づくりについて新たな取組をいろいろと始めた学期でもありました。掛合分校の校庭を走る業間マラソン、バス通学児童の登校時の徒歩区間の設定、そしてフッ化物洗口です。四校PTA・保護者会が主催された「運動と食のクリニック」では、身体教育医学研究所うんなんの鎌田研究員様から「(仮)掛合運動プロジェクト」の提案もあり、その具体的な内容について協議する会議も行いました。三学期にプロジェクトの中身を煮詰めて、来年度から四校連携の新たな柱として、形に表していきたいと考えています。

二学期の主な取組をここまで取り上げてきました

たが、各学年では各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間、そして外国語活動などがダイナミックに展開されました。それらの学習を進めていくうえで、今学期も掛合町内の皆様方、保護者の方々は大変お世話になりました。

今号では、その様子を写真を中心にして紹介します。学校支援地域本部事業で入っていたいただいている地域コーディネーターの今村さんには、地域の皆様と学校を結び付ける重要な役割を担っていただきました。



掛合太鼓保存会の松下周二様、岡田明様、堀江亮次様に指導いただきました。



写真上は、第27回掛合町ふるさとまつり(10月11日)での恒例「掛合太鼓揃い打ち」。写真左は、第22回ここおやしまつり(10月25日)での「はやしこ太鼓」発表。地域からの出演要請は夏の掛合恵比寿まつりに次いで2回目です。今年から要請があれば5、6年生全員で出演します。



10月学習公開の様子(写真は1年生教室)

自分なりの考えや意見、方法や工夫などを友達に聞いてもらう、また、発表者の発言をしっかりと聞くということは学習活動の重要な場面あり内容です。1年生も1学期から「話す」「聞く」の学習を立派に進めています。



島根県内の石油店さんで組織しておられる石油協同組合様から「困ったときのSS110番(防災・防犯協力事業)」として安全意識を高めるファイルを全校児童がいただきました。(9月24日)。写真は、1年生にお話しされている雲南支部長大野榮市様、掛合広域交番所長大島克彦様。



ミニバス大会壮行式。4年生がリーダーとなって見事にやりとげました。



十月二十七日(火) 学校保健員会での山下先生のご講演。ユーモアを交えて分かりやすく話してください。保護者の方には、「掛合アウトメディアプロジェクト十二月号」をご参照ください。



グラウンド整備に関する学校視察

雲南市議会教育民生委員会議員様、副市長様、掛合総合センター所長様、教育委員会・議会事務局様が11月5日(木)に校舎周辺の状況視察に来られました。昼休みの遊びは月・水・金が下の校庭、火・木は掛合分校校庭であること、業間に分校校庭でマラソンをしていること、下の校庭に下りるための安全対策、外体育の40分授業、など現況をご説明しました。PTA会長様も参加されました。



雲南市国際交流員のホ・キョンランさんを招いての国際交流学習。写真は、「チヂミ」作りを教えてもらっている5年生。(10月5日)キョンランさんには11月2日にも、3年生教室にきていただきました。



下の校庭では、3年生が上の写真のように野球に夢中です。また、遠景で分かりにくいですが、向こうの方では、5年生がサッカーをしています。サッカーには1年生が入れてもらうこともあります。体育館付近では1年生がキャッチボールをしています。



上の写真は12月18日(金)、今冬初めて積雪があった日の様子です。子どもたちは、雪だるまを作ったり、雪合戦をしたりと初めての雪を楽しんでいました。この紙面は白黒印刷ですが、原版もカラーで撮影しているにもかかわらず、光線の具合で水墨画のような色彩の写真になりました。

六年生「はばたきタイム」

はばたきタイム(総合的な学習の時間)で、六年生は「夢を描こう!仕事を調べよう」というテーマのもと、将来中学校で行う職場体験学習に向けた取組を行いました。

十二月三日(木)の午前中、子どもたちの希望をもとに掛合町内の事業所六か所で展開しました。それぞれの事業所では、ご多用にもかかわらず快く受け入れをしてくださいました。



波多温泉「満壽の湯」

実際に体験したり、職場の方にインタビューしたりと、短い時間でしたが体験をおしていろいろなことを学びました。



写真右 はあと美容室
写真左 ナカバヤシ掛合工場



この取組が、将来への目標や見通しをもって勉強や運動、人とのかわり方、規範意識などを考えていく



クラシック島根カントリークラブで。こちら様には、遠足で5年生もお世話になりました。



多根公民館。高齢者健康教室に参加しました。

ご迷惑なことも多かっただろうと思われませんが、子どもたちのために時間を割いていただいたことに重ねて感謝申し上げます。



写真上：掛合保育所夢の子園。さくら、うめ、もも、りんご組の4クラスでそれぞれ体験させていただきました。



端緒になればと考えています。

三年生社会科見学



掛合郵便局様にも行かせていただきました。また、9月号で紹介しましたが、掛合公民館様でもお世話になりました。

二年生町探検



掛合運送ニュー掛合給油所様におじゃましました。

掛合町には各地に様々な伝説があります。松笠にも、波多にも入間



石飛辰夫様に「黄金鳥」「多根だえもん」伝説を聞きました。

四年生は掛合の歴史



松笠地区(保閑谷)でネギのハウス栽培をされている片石國久様に教わりました。

五年生は米作り体験

春の田植えから始まった学習は「脱穀体験」と「餅つき」で一連の学習を終えることとなります。入間水車の会様、秋葉会の皆様にお世話



白築敏弘様には龍頭が滝にまつわる「池月」「オロチ」のお話を聞きました。



岡田幸夫様には、掛合出身の力士歳蔵さんのお話を聞きました。

にも掛合にも。

このもち米は、佐藤忠正様の水田で毎年作られるもので、田植え、稲刈りを五年生が体験させてもらっています。



5年生全員が杵を持って餅を搗きました。



入間水車の会の坪倉千尋様、藤原恒久様が昔の脱穀機械を使って脱穀作業の演示です。

になりました。

わかば・やまびこ学級
そば打ち体験学習

わかば学級・やまびこ学級では、校園で夏休みからそばを育ててきました。十二月十八日に、松笠公民館で昨年からお世話になっておられる松笠・多根の地域の皆さんに教えてもらいながら、そばの粉をひき、そば打ちをしました。

まず石臼を使ってそばの粉をひきました。臼を回すのは結構力がいる、腕が痛くなるような作業でしたが、どんぶり皮がむけて粉ができてくると、おもしろくなって時間のたつのも忘れていました。粉ができたなら、そばを打ちました。これも力のいる作業でしたが、おいしいそばを食べるためにがんばりました。打ち上がったそばは、すぐに湯がいてみんなでいただきました。ひきたて、うちたて、湯がきたてのそばはとてもおいしくて、何杯もおかわりしました。地域の皆さんにお手伝いしてもらいながら、とても楽しい貴重な体験ができました。



掛合分校文化祭に
二年生が招かれました



10月30日(金)の昼休みから掃除の時間にかけて掛合分校の講堂に招かれました。高校生のお兄さんお姉さんの読み聞かせを緊張した面持ちで聞きました。

毎週金曜日の「ほほえみタイム(読み聞かせ)」は一、三年生が対象です。月の最終金曜日は今年になります。十月十六日に、分校の生徒さんが読み聞かせに来

てくございました。



フッ化物洗口

雲南市の健康づくり施策の一環として「市内小・中学校児童・生徒のフッ化物洗口事業」があります。これは平成十八年度から始まった事業ですが、掛合町においては小学校統合を控えていたために、申し合わせにより「統合小学校開校後に状況が落ち着いてから実施」ということになっていました。今年度に試行をして来年度から実施という考えでしたが、できる状況になったことにあわせ、雲南市健康福祉課からの働きかけもあって、今学期から始め

ることとなりました。



健康福祉課の歯科衛生士 安部美智野様には11月27日から延べ3日間にわたり、保健学習・学級活動のTT指導に入ってくださいました。

0.2%のフッ化ナトリウム水溶液を10ml 1口に含みます。ぐちゅ、ぐちゅ、ぐちゅ・・・



右: 3年教室
上: 4年教室
左: 1年教室

租税教室

税金が果たす役割を学ぶ「租税教室」が、今年度は雲南法人会の竹下三郎様、井上量夫様、古田さとみ様に外部講師としてきていただき、十二月十五日に六年生を対象に行われました。消費税などの身近な税金が、社会のいろいろなところで役に立っていることを、ビデオや写真等の資料を見ながら学びました。六年生では、「政治と国民生活とのかかわり」を学びますが、今回はその事前学習になりました。



1万円札の新札と同じ大きさ、同じ重さの1億円分の見本を持ってこられ、代わる代わる減多に味わえない体験もしました。

現在、国や地方公共団体では来年度の子算編成をしているときでもあり、

タイムリーな学習になりました。

書初め練習

三年生以上の学年では、毛筆による書初めを行います。正月二日には家で書き、三学期になった一月十三、十四日には学校で書初め会を行います。今年度はお二人の方に指導していただきました。



5. 6年生は 積 泰澄様に、3. 4年生は大島寿子様に教わりました。

おもちゃまつり

国語の学習をスタートにして、いろいろなおもちゃを作った二年生は、教室に一年生を招いて「おもちゃまつり」をしました。二年生が作った説明したりするのを、一年生は目を輝かせて見聞きしながら楽しんでいました。



教育フェスタ2009で
PTA事例発表

十二月六日(日)チエリヴァホールを会場に行われた雲南市教育フェスタ2009で

育フェスタにおいて、本校PTA会長藤原博様は、「保小中高の連携した取組」のテーマで、昨年から行われてきた四校の連携、スポーツ少年団と小学校の連携、PTA・保護者会の連携を発表されました。

他地域にはみられない連携の実践例、そして、その連携を支える人の存在という内容は様々な方面から高い評価を受けられました。

来年度の中国、四国、九州地区の社会教育研究大会において島根県代表として発表をという要請もあります。会員の方にも機会があれば、報告の意味でお伝えしたいという考えをお持ちです。



【お断り】

十月号でお伝えした科学作品展佳作の奥井駿太さんの字に誤りがありました。正しくは「駿」です。お詫びして訂正します。